

～なかよく！いきいき！わくわく！～

町田っ子だより 第5号

2021年11月発行

2021年度町田市幼保小連携推進担当者連絡会

をリモートで行いました

2021年度は、2020年度に引き続き、新たな生活様式の中でも実施可能な取組として、担当者連絡会を企画、開催しました。新型コロナウイルス感染症対策の影響で先延ばしになっていた運動会の開催時期と重複していたにもかかわらず、多くの園にご参加いただきました。

11月1日（月）、2日（火）に開催した今回の連絡会では、両日併せて小学校42校中39校、保育園・幼稚園119園中61園、計100名の先生方にご参加いただき、市内5地域別かつ近隣にある学校・園同士を小グループに分けて意見交換を行いました。小グループでは、「コロナ禍における幼保小連携の方法とカリキュラムの活用について」などを議題として、話し合いを行いました。

話し合いの時間では両日ともに、幼稚園・保育園の先生から、「小学校に進学する時点で、子どもたちが〇〇をどこまで出来てほしいのか」と質問が出る場面が多く見受けられました。どのような生活習慣が身に付いていれば小学校での生活に困らないのか、心配している先生が多いからこそこの質問かと思います。それに対する小学校の先生からの答えと合わせて、以下の緑枠内にご紹介します。

意見交換で出た質問と回答（一部抜粋）

● Q：小学校に上がるまでにどのようなことが出来てほしいですか。文字の読み書きや靴の着脱などが出来ていた方がよいのでしょうか。

A：文字の読み書きでは、自分の名前が分かるとよいですが、読み書きまでは出来ていなくても大丈夫です。文字を知る興味づくりの環境を、幼稚園・保育園でつくってほしいと思います。「何か特別なことが出来る」ということよりも、自分の気持ちを自分で伝えられること、例えば、分からないことがあれば「分からない」と発言して助けを求められるようになってほしいです。

意見交換で出た質問と回答（一部抜粋）

- Q：園で保育要録や就学支援シート等の書類を作って、小学校に渡しているが、どの程度参考にしていますか。
A：幼稚園・保育園が作成した書類は、クラス分け等の参考にしています。子どものことについて、正直に記載していただくと助かります。

また、感染症対策の中で暮らすという新しい生活様式の中での環境の違いについての気づきがありました。

意見交換で出た意見（一部抜粋）

- 小学校では食事と運動以外は子どもが常にマスクを着用していて、なるべく手つなぎなどもさせていません。一方、幼稚園・保育園では、園によってマスクを着用させるか否かの判断が様々なことや、お散歩のときには手をつないで歩いていると聞きました。両者間で、環境や意識が異なることが分かりました。

さらに、コロナ禍という以前とは違う状況の中で、今後に向けた意見も挙がりました。

意見交換で出た意見（一部抜粋）

- 就学前に基本的な生活習慣を身につけ、スムーズに小学校に進学できるよう子ども達に日々伝えていきたいと思いました。
- 就学を見据えた話を、きちんと保護者に伝えていく事が大切。
- 幼稚園・保育園、小学校としている内容は違っていても子どもへの思いや考え方は共通していることが多いと感じました。幼保小の先生で情報共有する場や実際に子どもの姿を見る機会があると、子どもにとってより良い接続ができると感じました。
- 小学校の先生も忙しいとは思いますが、このようリモートの形でも子どもの姿を共有できる場を作りたいと思っています。

そのほかにも、ご紹介しきれないほどたくさんのご意見がありました。ご参加いただいた先生方のアンケート結果まとめにも、一部ですが連絡会を通しての気づきや感想を記載していますので、ご一読ください。その中に、連絡会の時に伝えそびれたという小学校の先生からメッセージがありました。

M 小学校 1 年生担当より



町田市内で、1年生から chrome[※]の活用が始まっている。幼少期から家でスマホでユーチューブ使い放題の家庭があると、小学校で chrome を与えられたときに、「学習道具」ではなく【新しいおもちゃ】をもらったという感覚になり、ネット遊びの助長につながったり決まりを守れず遊んでしまったり・・・、というケースが少々あります。なので、幼少時代から、スマホ、ユーチューブに関する啓発を強化していく時代なのかな、と思いました。

※ (Google) Chrome…2in1 パソコン

ネットリテラシーの啓発に
つながる考え方ですね。





連絡会を終えて～事務局から～

7月に連絡会を開催した時には、ネットワーク接続の不具合のため、多くの先生方が意見交換に参加出来ないまま閉会となってしまいました。改めて、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

今回は、毎月の法人立保育園長会でも使用しているリモート会議サービス「Webex」を利用し、かつ開催日を2日に分けて行うことで、安定した接続状態で開催することができました。一部の方についてネットワーク環境等が原因で接続が安定せず、意見交換が滞る場面もありましたが、「今回のようなオンライン会議について、今後も続けてほしい」というお声をたくさんいただきました。今後も、オンラインでより円滑な意見交換をしていただけるよう、教育委員会と対策を検討していきます。

会を通し、コロナ禍で情報共有や児童同士の交流が以前のように出来ないことで、幼保小間の交流の機会が少なかったことを改めて実感いたしました。事務局としても、今回のような情報交換の機会を設けることを続けていきたいと思えます。また、直接の交流ではなくとも、小学校1年生が学校の様子や学習の様子を動画で撮影し近隣の園に届けるという交流をしたという事例もあり、子ども視点の動画交流というのがとても今時で、子どもの主体性を尊重した交流活動のとても良い取組だと思えました。みなさんの園ではどのような交流ができそうでしょうか？是非、来年に向けていろいろなアイデアを考えてみてください。

連絡会に参加いただいた皆様、大変ご多忙の中ご協力いただき、ありがとうございました。



～今後の動き～

2022年2月には、町田市幼保小連携推進事業の一環として講演会を行います。テーマは「学力調査とスタートカリキュラムの関連からみた非認知能力」を予定しています。講師は、町田市接続カリキュラムの策定にご尽力いただいた東京家政学院大学準教授 丹羽さかの先生です。改めて、接続期のカリキュラムを作成・理解する意義を確認する機会にもなるかと思えます。

日時や参加方法等の詳細は今後改めて通知いたしますので、保育に関わる多くの方にご参加いただけるようお願いいたします。

皆様の幼保小連携の取組みがあれば、

ぜひ取材させていただきます！

町田市幼保小連携推進事務局

042-724-2133 まで！

